

---

1 非小細胞肺癌、StageIV 脳転移症例  
に対する放射線、化学療法と漢方薬  
761 の併用効果 (症例報告)

○梅村博也、安富正幸 (近畿大学第1外科)、史 淑賢、霍 増洪、難波良弘 (アンファ研究所) 安宅信二 (近畿中央病院内科)

(目的) 非小細胞肺癌 (腺癌) の StageIV 脳転移症例に放射線全脳照射、化学療法同時併用療法の効果が報告されている。われわれはさらに漢方薬 761 を併用して治療効果を検討した。

(症例) 37歳のキャリアウーマン。平成10年9月会社の健康診断で左下葉に異常陰影を指摘された。近畿中央病院で胸部、頭部CT, MRI, 気管支内視鏡下生検の結果左肺S<sub>6</sub>に発生した腺癌で右被殻部、左後頭葉皮質下にそれぞれ1つの脳転移巣が発見された。病期はc-T<sub>4</sub>N<sub>0</sub>M<sub>1</sub>でStageIVであった。

(治療) 化学療法は平成10年10月12日から Vindesine 3mg/m<sup>2</sup>, Cisplatin 100mg/m<sup>2</sup>, Mitomycin C 8mg/m<sup>2</sup> を点滴または静注で3クール行い12月7日に終了した。全脳照射は10月13日から1回2Gray, 週5回で合計20回、40Grayの照射を行った。漢方薬761は10月24日から毎週2日間にわたり200gmを服用した。

(経過) 平成10年12月17日の胸部XR, CTでPR, 平成11年1月9日の頭部MRIでは右被殻部の転移巣は縮小し, 左後頭葉皮質下の転移巣は消失した。退院後は漢方薬761を毎日6gmを分2で服用している。平成11年6月の頭部CTで右被殻部の転移巣も消失した。

(考察) 近畿中央病院の報告ではStageIVの非小細胞肺癌に上記放射線全脳照射と化学療法の併用により有効性が示されている。故霍 安華氏と史 淑賢女史が開発された漢方薬761の併用は原病巣と転移巣に著効を示すと思われる。